

2018 年度輔仁大学日本語文学科創立 50 周年・台湾日本語文学会創立 30 周年
記念国際シンポジウム

「台湾における日本研究の課題と展望—文学・言語・社会」

研究発表者募集

主 旨：

台湾の各大学の日本語教育現場に携わる教師に、日々の実践と研究について意見交換と研修の場を提供し、日本語文学、日本語教育、日本関連研究の質的向上をはかり、成果、研究法、指導法の教育現場への還元を目指す。同時に、水準の高い学術誌を刊行して、日本語関係大学教員の研究発表の場を提供し、同時に学術水準の向上に貢献する。

台湾における日本語文学研究、台湾の現状にあった日本語教育の方法・教材の研究開発及び教授者たちのネットワークの拡大と充実を目指しながら、世代交代の時期に入った台湾日本語教育界の後継者を育成し、さらに少子化に備えて中等教育での日本語教育等との連携を強化する。また、韓国、日本等の学会との実質的交流を着実に進め、東アジアにおける日本語教育のネットワーク形成に寄与する。

これに鑑みて2018年は「台湾における日本研究の課題と展望—文学・言語・社会」というテーマで12月15日、台湾台北で国際シンポジウムを行う。台湾の教育・研究機関で行われている日本研究を、より実践的に社会に貢献し得るものとして見直そうとする試みである。

2018年度は「台湾における日本研究の課題と展望—文学・言語・社会」というテーマに合わせて、日本文学、日本語学等で現在活躍中の研究者を招聘した上で、東アジアでの国際的ネットワークを活かして発表者およびパネリストを募集する。参加者の発表および討議は、より实际的で社会に資する日本研究を実現するための重要な一歩となるはずである。大会で行われた提言や深められた議論は、実際の研究の場、あるいは、教育の場で参加者たちによって生かされることとなる。また、企業との実務的な連携などを結ぶきっかけとなることも期待される。

関係領域：日本語文学、日本語教育、日本関連研究に関わる諸研究領域

主 催：輔仁大学日本語文学科、台湾日本語文学会

会 場：輔仁大学

日 程：2018 年 12 月 15 日（土）

発表方法：

- (1) 使用言語：(原則として) 日本語
- (2) 発表費用：会員—無料、非会員—1,000 元
- (3) 発表時間：
 - A. 口頭発表：一人 30 分 (口頭発表 20 分、質疑応答 5-10 分)
 - B. ポスター発表：ポスターセッションの間にポスター論文を掲示し、ポスター前にて発表を行います。
- (4) 申込方法：E-mail
「発表申込用紙」(添付資料一)にご記入のうえ、メールで下記のアドレスまでお送りください。taiwan.nichigo2015@gmail.com
- (5) 書式は添付資料二、資料三を参照してください。
- (6) 申込期限：**2018 年 3 月 15 日【必着】**
- (7) お問い合わせ先：
輔仁大学日本語文学科 (新北市新莊区中正路 510 号)
G24@mail.fju.edu.tw / +886-2-2905-2596 FAX : +886-2-2905-2169 陳秘書
台湾日本語文学会
taiwan.nichigo2015@gmail.com 秘書処 / FAX : +886-2-2905-2174
- (8) 当学科で編成した審査委員会にて要旨を審査させていただくため、場合によっては発表テーマの変更などをお願いすることがありますが、ご了承ください。審査の結果につきましては、**4 月 30 日**までに通知いたします。なお、予稿の締め切りは**10 月 15 日**となります。